

事務事業名		意欲ある農業者支援事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		農業課		H28係等名		農村振興係		H27係等名		農村振興係	
基本計画上の位置づけ		政策 1		多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり		事業種別		政策		開始 26 終了	
種別		政策 12		未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化		種別		政策		開始 26 終了	
目的	対象(誰・何を)	市内農業者(認定農業者、新規就農者等)				指標名及び単位		27年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	新規就農と新たな経営にチャレンジしてもらい、経営を拡大・安定してもらう				対象指標	農業就業人口(人)※H17センサス:6,370人 H22センサス:4,577人 H27センサス:5,581人		5581		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円					認定農業者数		221		
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	めぐりチャレンジ農業資金新規融資斡旋件数(件)				20	7	20	20		
	成果指標	農業資金利用計画認定件数(融資件数)(件)				5	7	7	7		
定性目標											
事業概要	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金融資事業 農業者のステップアップを目的とし、低利で柔軟な資金として貸付対象者を新規就農と6次産業化等を促進する農業者と認定農業者等の地域の担い手を育成すると共に、新たな経営展開による地域農業の活性化を目指す。貸付限度:500万円(H22年度までは個人200万円・団体300万円) 返済期間:10年以内(H22年度までは5年間) 融資利率:貸付開始5年間は無利子、6年目以降は日本政策金融公庫資金の最低利率 年度当初に「JAみなみ信州」へ拠出金を預託し年度末に拠出金が返還される。</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業 認定農業者が安定した経営と更なる事業展開を図るために、認定農業者自らが作成する「農業経営改善計画」の実現に向けた取り組みを資金面から支援。低利な資金斡旋と利子助成。資金利用計画の認定を受けた農業者に対し、「農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)」及び、「認定農業者育成推進資金(農業近代化資金)」の融資利子の一部を助成する。</p> <p>3 経営体育成支援事業 地域が認めた中心経営体が、制度資金を活用して農業施設等を整備する場合、事業費の3/10を補助する。</p> <p>4 農業経営改善計画の認定</p>										
	事業内容										
	<p>1 あぐりチャレンジ農業資金融資事業</p> <p>(1)融資照会に対する対応 融資希望者をJAで受付、審査実施後の案件について調整し、決裁後融資の承認をする。</p> <p>(2)市3,000万円+JA3,000万円を原資に2倍の12,000万円まで融資可能</p> <p>2 認定農業者育成利子助成事業(スーパーL資金、農業近代化資金)</p> <p>(1)農業資金利用計画認定、融資照会に対する相談</p> <p>(2)既存融資に対する利子助成・補給事務</p> <p>3 担い手の農業機械導入、施設整備に対する支援事業</p> <p>(1)経営体育成支援事業 (国)補助率3/10</p> <p>(2)担い手確保・育成支援事業 (国)補助率1/2 (27→28繰越明許)</p> <p>4 農業経営改善計画認定</p>										
	<p>名称</p> <p>1 あぐりチャレンジ資金融資件数</p> <p>2 農業資金利用計画認定件数</p> <p>スーパーL資金</p> <p>農業近代化資金</p> <p>3</p> <p>(1)補助件数</p> <p>(2)補助件数</p> <p>4 認定農業者数</p>										
<p>活動指標</p> <p>1 11件</p> <p>2 0件</p> <p>8件</p> <p>3</p> <p>(1) 3件</p> <p>(2) 3件</p> <p>4 221経営体</p>											
27年度事業内容	事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
	事業費計(千円)①		17,439	49,468	31,771	35,324	(県)農業経営基盤強化資金利子助成補助金 1,042千円(6/10、1/2)				
	国庫支出金						(県)経営体育成交付金4,874千円(国3/10)				
	県支出金		1,347	18,603	5,916	4,667	(そ)あぐりチャレンジ農業資金貸付預託金回収金				
	起債						27→28繰越明許費 12,683千円				
	その他		15,000	30,000	25,000	30,000					
	一般財源		1,092	865	855	657					
人件費計(千円)②		2,503		0							
正規職員所要時間		700									
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		19,942	49,468	31,771	35,324						
事業内容・目標達成状況の振り返り		あぐりチャレンジ農業資金はH26に貸付対象等の拡大により相談件数、貸付実績ともに増加した。H27貸付件数は11件、貸付金額は28,810千円。農業資金利用計画は近代化資金融資件数8件ですべてが利子補給(県)の対象。経営体育成支援事業助成件数は3件(補正3件)。認定農業者は地域へ出向き申請の方法や支援策の説明等をした為、認定件数は221件まで増加した。									
改革改善の考え方	①問題点	<ul style="list-style-type: none"> 市内の農家や認定農業者数が高齢化等の理由により減少傾向にある。 市内の農家や認定農業者への支援策等の情報が広く周知されていない。 									
	②改革提案	農業経営改善には農業設備投資とそれに対する行政の支援は不可欠。金融機関と連携し融資以外の支援も含め多面的に支援していく必要がある。支援策は説明会の開催やHPの活用等により農家へ広く周知する必要がある。									